

令和4年度  
第1回デザイン審査小委員会  
会議録

デザイン審査小委員会

令和4年度

第1回デザイン審査小委員会 会議録

1. 開催日時・方法	令和4年4月26日(火) 午後1時30分～午後3時00分 伊丹市役所 東館 3階 301会議室
2. 会議出席者	デザイン審査小委員会 委員 ・委員長 田中 栄治 ・委員 神農 悠聖 ・委員 江尻 幹子  事務局 ・都市活力部 部長 西本 秀吉 ・都市整備室 室長 宮木 哲男 ・都市計画課 課長 溝淵 宏祐 ・都市計画課 主査 上田 みのり ・都市計画課 主査 三浦 慎也  事業者 ・伊丹市デジタル戦略室 1名 ・大成建設株式会社 2名 ・隈研吾建築都市設計事務所 1名
3. 議題及び内容	1. 良好な都市景観形成に関する意見について(1件) 所在地:伊丹市千僧1丁目1他
4. 議決事項	—
5. 議事の要旨	全体について  ・内部サインも含め、表示面の高さ、文字の大きさ、色彩について、多くの人にわかりやすいサインとなるよう、設計してください。  施設全体案内サイン(Gu-01)について  ・歩行者レベルの誘導となるよう、また、車椅子の通行可能経路がわかるよう、庇の表現、段差やスロープの明示を再検討してください。その際、どの入口から入れば利用しやすいかがわかる(例えばエレベーター等の位置を表示する)よう、建物に入ってから の利便性も考慮してください。  ・周辺施設がわかる広域図と、市役所の敷地案内に特化した地図をそれぞれ表示することを検討してください。  ・実際の完成した施設と不一致な箇所がないよう、正確な案内図にしてください。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物の影は余分な情報となる場合があるので、有無を検討してください。</li> <li>・補助的情報である凡例の地色が、地図面との対比が強いことで際立ち過ぎており、凡例内の車両出入口の色味も判別しにくくなっています。また、地図の道路表示と重なる部分があり、明瞭さを損ねた配置になっています。前述の点に配慮し、凡例をバランスよく表現してください。</li> </ul> <p>施設名称サイン-B (iD-02) について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・白い文字は、壁紙などの背景が白である場合には非常に見えにくいと思われるため、室内空間のデザインに応じて見えやすい色彩となるよう設計してください。</li> </ul> <p>免震建物表示 (re-06) について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎の壁面の色彩 (N8.5) に対し、サインの地色が実測値N9.5となっており、異質感があるため、明度を合わせてください。</li> <li>・免震構造であるイラストがわかりにくいので、デザインを見直してください。</li> </ul> <p>自立式サインについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置位置および高さによって、サインの角部が通行者の身体に触れることを考慮し、怪我をしないような仕様にしてください。</li> </ul> <p>その他：フロア案内サインについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地色が白過ぎると、色覚異常者の方にとって、文字が読みにくくなる場合がありますので、色味への配慮をお願いします。</li> <li>・フロアごとにサインの色分けをするなど、誰にでもわかりやすいデザインとなるよう検討してください。</li> </ul>
6. その他	なし

署名人

デザイン審査小委員会

委員 \_\_\_\_\_

委員 \_\_\_\_\_